



2017・8・21

第 281 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

本格化する改憲案作りに草の根からの反撃を

4つのテーマめぐり論議一巡

安倍首相は8月3日、「森友」「加計」疑惑や防衛庁「日報」隠ぺいへの国民の批判、都議選の歴史的敗北で受けた打撃を立て直すため、内閣改造をおこないました。連動して自民党憲法改正推進本部も新たに事務総長のポストを設けるなど体制の強化をはかり、改憲案まとめの段階に入ります。

同推進本部は8月1日の会議で安倍首相が提起した4つ課題の1回目の討議を終わりました。その結果、①9条1、2項を残しての自衛隊明記なら国民の理解が得られる、②緊急事態条項の創設は大規模災害時の国会議員の任期延長などに絞って議論をすすめる、③参院選挙区選挙の合区解消については、憲法47条に各都道府県から参議院議員1人を選出する規定を設ける、④高等教育の無償化については、財源確保が難しいなどの理由で慎重意見があいついでいる、という状況です。

推進本部は8月29日から2回目の論議に入ります。

ポスター、ブックレット普及開始

「安倍9条改憲は戦争への道」という共

安倍9条改憲をとめよう！ 全国交流・討論集会のご案内

九条の会事務局は、下記のように「安倍9条改憲をとめよう！全国交流・討論集会」を開催します。ぜひ全国の九条の会から代表の派遣をご予定ください。

◇日時 10月8日（日）

午後1時30分

◇会場 東京文京区・文京区民センター
九条の会 事務局

通のタイトルをもつポスターとブックレットの普及活動がはじまりました。愛知県連絡会が2500枚のポスターの注文をしてきたのをはじめ各地の九条の会からも、それぞれの宣伝計画に見合った注文が寄せられ、自民党の改憲案づくりが本格化する秋に向けて、出足早い宣伝戦で安倍首相の企てを阻止しようとの意欲的取り組みが始まっています。

ブックレット

「安倍9条改憲は戦争への道」

(6月20日 九条の会事務局学習会)

「安倍首相の改憲発言をめぐって」
の記録)

*内容 「安倍首相の改憲発言—そのねら
いと危険性」 渡辺 治

「安倍首相改憲発言の憲法論的検討—政
府の憲法解釈と自衛隊加憲論を中心
に考える」 浦田 一郎

*B5版 77頁

*定価 500円 10部以上400円 円別

ポスター

「安倍9条改憲は戦争への道」

- ・デザインは、九条の会のホームページで
ご覧になれます。
- ・定価 100円 10部以上割引 円別

「3の日宣伝」各地で定着

【長野県飯綱町／飯綱町憲法9を守る
会】 8月で3日、「アベ政治を許さない」
などのメッセージボードをもったスタン
ディング宣伝が行われました。「飯綱町憲法9
条を守る会」が朝7時から、旧北国街道沿
いで通勤の車にむけてアピール。9人が参
加しました。

手書きで「異議あり、安倍改憲発言」な
どと書いたポスターや、のぼり旗でアピ
ールします。60代の男性は「車の窓から手を
振ったり、クラクションを鳴らす車が毎回
ある」、女性3人はアベ政治について『「ダ
メ」なんて、やさしい言葉じゃ言えない」「藁
(わら)人形に5寸釘を打ちたいくらい」
と怒り、「何としても憲法は守りたい」の思
いを口々に語りました。83歳の男性は「あ
そこの山に登って、(1945年8月の)長野
空襲をみた」と指さし、アピール行動に「毎

回、くる」と述べました。

9条の会事務局の仲俣範恵さんは「あき
らめず、続けることが大事」といい、「運動
が縮こまらないように、仲間を増やすこと
を心がけてきた」と話します。同じく事務
局の武田保代さんは「夏も成人式と高校の
文化祭で宣伝する予定」と語りました。

3の日行動は全国に呼応して15年からお
こなっています。雪の期間は休んでいまし
たが3月から再開。3日と19日にスタン
ディングを継続中です。

ねぶた祭の観光客にも訴え

【青森県／青森県九条の会】 「アベ政
治を許さない」ポスターを一斉に掲げる行
動が3日、青森市内の各地でくり広げられ
ました。

青森市の駅前公園では、青森県九条の会
がスタンディングアピール。ねぶた祭に訪
れた観光客や市民が行き交うなか、21人が
整列してポスターを掲げ、南スーダンPK
O(国連平和維持活動)派遣部隊の「日報」
隠ぺい問題や、森友・加計疑惑にふたをし
たままの安倍政権に強く抗議し、退陣を求
めました。

マイクを握った谷崎嘉治さんは「内閣改
造をしても、多くの国民は安倍政権の本質
を見抜いている。安倍首相の狙いは憲法9
条改悪であり、首相在任中に何としても実
現させる執念を決して忘れてはならない」
と述べ、改憲阻止運動への連帯を呼びかけ
ました。

同市東部のスーパー前では青森保険生協
佃支部などが呼応して「アベ政治を許さ
ない」宣伝を実施し、保健生協佃支部の小山

内和子さんは「市民と野党の共闘を広げ、東京都議選、仙台市長選に続いて、解散・総選挙で安倍自公政権にレッドカードを。憲法が生きる平和、いのち輝く社会を実現させよう」と訴えました。

写真や紙芝居で平和を語り合う

【宮城県柴田郡村田町／村田町憲法9条を守る会】 村田町憲法9条を守る会は第一回の「平和のつどい」を8月6日(日)に村田町中央公民館で開催しました。内容は「原爆写真のパネル展」、読み聞かせ「平和ってすてきだね」、紙芝居「へいわのちかい」、井上ひさしの「もう二度と戦争はしない(第9条)」をみんなで声を出して読み合わせたり、体験者のお話を聞いたり、アニメ「鶴に乗って～とも子の冒険」上映と盛りだくさんに行いました。参加者が休憩する場所を設けて、冷たい麦茶とお菓子、差入のトマトを用意しておもてなしをしました。

子どもの参加は少なかったのですが48名の参加があり、会員のみなさんと相談しながら次回に向けて企画しようと話し合いました。(村田町憲法9条を守る会 事務局 高橋勝さん)

戦争体験者の話に息をのむ

【滋賀県／滋賀・九条の会】 滋賀・九条の会は8月6日、大津市の三井寺観音堂客殿で戦争体験を語る会を開きました。中村久郎さん(84)＝草津市が「軍国少年の戦中と戦後」と題して語り、約30人が耳を傾けました。

中村さんは「天災は忘れないうちに次々とやって来ていますが、人災は忘れた時に

やって来るという気がします」と語り継ぐことの大切さを強調。「小学校の校門に入って最初にするのは、奉安殿に向かって最敬礼すること。どっちを向いても天皇さんと手柄を立てた軍人さんの話でした。いつしか手柄を立てて死ぬ運命にあることを納得させられるような時代だった」と振り返りました。

「7人兄弟で、1人は終戦の年に生まれて間もなく亡くなっています。戦後も妹1人が腸炎でなくなった。薬があれば誰でも治る病気が戦争のために薬も栄養もない。弾に当たったり戦災で殺されたりする以外にどれだけたくさんの人たちが亡くなったことか」と目を潤ませました。

核廃絶めざしピースウォーク

【東京都新宿区／早稲田9条の会など】

東京都新宿区で8月9日夕、市民と野党による「新宿から安倍政治にサヨナラを！8・9新宿ピースウォーク」が行われ、約100人が参加して、鈴やタンバリンを鳴らしながら区内を行進しました。雨の中、「憲法を守ろう」「安倍政治はもういらぬ」とコールしながらの宣伝に、沿道から「頑張れ!」と声をかける人の姿がありました。

出発に先立ち、早稲田9条の会の武藤徹世話人が実行委員長あいさつ。国連で核兵器禁止条約が採択されたことについて「記念すべき画期的な年になった。世界の世論と団結するために頑張ろう」と語りました。

区内各地の市民や9条の会などのほか、自由党の野沢哲夫氏、日本共産党の大山とも子都議らが参加しました。大山都議は、オーストラリアで米軍機オスプレイが墜落

した事件で、「原因の究明もないままに、もう飛ばしている。許しがたいことだ」と批判。「みなさんと一緒に、都民の命を、憲法9条を守り抜くために力を尽くす」と決意を述べました。

国民無視の安倍政治ゴメン

【和歌山県／憲法9条を守る和歌山県弁護士会】 9条を守る和歌山県弁護士の会は8月10日、「憲法の破壊を許さないランチTIME デモ」を和歌山市で実施し、猛暑のなか50人が参加しました。

市役所前での出発集会で藤井幹雄弁護士は、戦後日本は、原爆の悲劇を繰り返してはならないとしてきたはずだとのべ、核兵器禁止条約の国連会議をボイコットした日本政府をきびしく批判。「あなたはどこの首相か」という被爆者の怒りの声を紹介し「安倍政権を絶対に代えなければいけないの思いを強くした」と訴えました。

参加者らは「9条守れ」、「国民を無視する政権を代えよう」などと訴え、市内を進行しました>

原発事故の重さに胸うたれる

【群馬県前橋市／かがや9条の会】 かがや9条の会は7月30日、設立11周年記念のつどいを前橋の市桂萱（かがや）公民館ホールで開催し、94人が参加しました。

会の飯田至弘事務局長は、地元の公民館で開催される文化祭で、9条の会の作品を構内のテントに展示し地域の参加者と交流が進んだことなどを報告。大詰めとなった「9条署名」の推進についても訴えました。

2011年の東京電力福島原発事故でいわき市から前橋市に転居した丹治杉江さんが「原発事故福島7年、チェルノブイリ31年」と題して記念講演しました。緻密な資料と映像を交えた話に参加者から「からだで怒りを感じました。重すぎる。どうしたらいいのでしょうか。孫の未来が心配です」「原発事故の重大さを改めて考えさせられた。安倍首相の口先政治に腹が立った」などの感想が寄せられました。

第2部では、ニライカナイ琉球三線クラブのみなさんによる歌と踊りが披露されました。

9条に自衛隊を規定すれば…

【兵庫県／兵庫県弁護士9条の会】 憲法に自衛隊を明記することの意味を考えようと兵庫県弁護士9条の会は8月5日、神戸市で憲法公開講座を開催しました。

青井未帆学習院大学教授が講演し、憲法「改正」論議について、明治以後の歴史に照らし、権力と政治、国家と個人のあり方をまじめに議論する必要があると強調しました。明治憲法下の「国防国家」（戦争する国）、国民動員の仕組みにもふれながら、自民党の改憲は、「普通の軍隊」にするまで改憲がすすむと警告。市民社会が改憲を阻止するだけでなく、立憲主義に立ち戻るきっかけにすることを呼びかけました。

同会の羽柴修事務局長は、「戦争させない、9条壊すな！総がかり行動兵庫県実行委員会の「憲法を活（い）かす1万人意見広告」（11月3日付神戸新聞）運動と集会（8月31日、午後6時半、神戸市勤労会館大ホール）などへの参加と協力を訴えました。

約 70 人が参加し、改憲勢力による護憲運動の分断や官僚組織と市民社会の対抗、市民による憲法制定運動などの質問、意見が出され議論しました。

日本会議のシナリオ演じる首相

【青森県八戸市・はちのへ九条の会】 はちのへ九条の会は 7 月 30 日、八戸市福祉公民館で緊急学習会を開き 44 人が参加しました。学習会では県九条の会共同代表・弁護士の金澤茂氏が「安倍『改憲』戦略と日本会議の野望」と題して講演しました。

金澤氏は、憲法破壊を進めてきた安倍首相の足跡をたどり、今、締めくくりとして 9 条を変えようとしていると述べ、「右翼団体の日本会議がシナリオを描き、安倍首相が演じているもので、戦後レジームからの脱却という言葉で戦争する国づくりをめざしている」と説明しました。

『9 条 2 項は残して』という 5 月 3 日の安倍首相の改憲提案は、日本会議メンバーによるもので、国民を欺くための徹底的な迂回（うかい）作戦との分析や日本会議の歴史・極右思想を紹介。「日本会議が言う『美しい日本、誇りある国づくり』とは『明治憲法下の日本』への復活のこと。安倍内閣の誕生を自分たちの運動の成果だととらえて、安倍内閣のうちに、改憲の道をすすめようとしている」と指摘しました。

金澤氏、「日本会議の野望をきちんと認識し、都議選に示された安倍内閣への批判をさらに強め、市民の連帯で立憲主義・民主主義を守ろう」と、呼びかけました。

「草の根」も脅かす日本会議に警戒

【神奈川県厚木市／あつぎ・九条の会】

7 月 11 日「九条かながわの会」主催の「9 条学校 2017」に参加しました。

「子どもと教科書全国ネット 21」事務局長の俵義文さんが「森友・加計学園問題の深層 日本会議の全貌」と題して、神奈川県新聞記者の田崎基さんが「憲法の岐路～安倍改憲の表層と深層～」について講演されました。

俵さんは、以下のように述べています。安倍政治が行ってきたことは、日本会議の要求を日本会議と共同・連携する議員連盟（国会・地方）が国政に持ち込んできたものである。国民会議は宗教右派と合併し、左派が行って来た草の根運動をマネシ（改憲 1000 万署名など）、全国で 252 支部、会員 4 万人をもつ極右団体である。

神奈川県が全国の拠点で、横浜・藤沢で育鵬社教科書が採択されている。又、森友学園の教育は、安倍「教育再生」政策で、次期学習指導要領がめざす教育を先取りしたものだ。

田崎さんは、安倍改憲について、護憲的改憲派や無関心層に「安倍改憲には反対」という意思表示になる活動をする事を訴えられました。

最近、私は俵さんの著書を手に入れた。国会での答弁者や神社が日本会議に所属しているかチェックするようになりました。歴史に逆行する日本会議いいなりの政治を止めなくては！（大友三昭「8 月 あつぎ・九条の会」）

韓国憲法との違いも学ぶ

【奈良県／「九条の会」奈良ほか】 「九

条の会」奈良と九条の会奈良県ネットワーク、日本国際法律家協会は2日、奈良市内で『新九条改正案』を斬る」と題して緊急学習会を開き95人が参加しました。

韓国・仁荷大学の李京柱（イ・キョンジュ）教授が「韓国からみた日本国憲法九条」、前川清成弁護士（前参議院議員）が「憲法を『守る』という意味～安倍総理による憲法改正」と題して講演しました。

李氏は、日本国憲法と韓国憲法の違いについて、日本は9条の2項があったから軍事化に制約がかかり、韓国は2項に相当するものがなかったから海外派兵につながったとのべ「日本と韓国が共に9条の大事さを考えていかなければならない」と語りました。

前川氏は、近代憲法は、国家権力を制限し暴走しないためのルールとして誕生しましたとのべ、安倍首相が狙う憲法「改正」の「国民の義務」や緊急事態条項の危険性について説明し、「立憲主義を否定する自民党に、憲法を絶対に変えさせてはいけない」と訴えました。

日常生活も憲法考える題材に

【埼玉県久喜市／九条の会・久喜】6月3日に九条の会・久喜が開催した木村草太氏の講演会は、これまでにない270人超の参加者で文化会館小ホールが埋まりました。

木村氏の講演は、国会で審議中の「共謀罪」の話題に始まり、「立憲主義と憲法」、5月3日に安倍首相が表明した「自衛隊を9条に明記」することの是非、最後に憲法に照らして日常の中の出来事を見る「学校の組

体操でケガ、道徳教材に疑問」に及びました。

学者といわれる方の話は、専門用語が多く、言い回しも専門的で分かりにくいことが多いのですが、木村氏の講演は、具体的な事例を示しながら難しい話を本当にわかりやすく話していただきました。（会副代表・船橋延嘉「九条の会・久喜」45号）

美術通じて平和の訴え

【神奈川県／美術・九条の会他】第15回ノー・ウォー横浜展かわさきが、川崎市川崎区のアートガーデンかわさきで、8月6日まで開かれました。主催は、ノー・ウォー美術家の集い横浜と美術・九条の会。

今年は、72人が絵画やオブジェ、詩、入場者も参加してつくる作品など、128作品を出品。会期中も新たな出品が予定されています。戦争や原爆、憲法、「共謀罪」法などを題材にした作品が多くありました。会場では、出品者のパフォーマンスも行われました。

出品者の知人に誘われて、はじめて来場した太田未央さん（50）は「『共謀罪』法などで自由が少しずつ狭められていくことへの不安感や、憲法9条などの当たり前にあるものが変えられることを怖いと感じているので、平和について考えたいと思ってきた。どの作品からも、作者の平和への思いを強く感じます」と話しました。

事務局の藤井建男さん（73）は「今年は『共謀罪』法の成立をうけて、久しぶりの出品者も多く、作品に力強さがあります。美術家は情勢を敏感に受け止めています。多様な平和の訴えがある」と話しました。